

2009.7.18～2009.11.29

お問い合わせ

鹿児島県上野原縄文の森  
〒899-4318 鹿児島県霧島市国分上野原縄文の森  
1番1号  
TEL 0995-48-5701  
FAX 0995-48-5704  
ホームページ <http://www.jomon-no-mori.jp>  
メールアドレス [uenohara@jomon-no-mori.jp](mailto:uenohara@jomon-no-mori.jp)

第25回上野原縄文の森企画展

# 新発見!かごしまの遺跡 2009

～県立埋蔵文化財センター発掘速報展～

平成20年度、埋蔵文化財センターでは、東九州自動車道等の道路建設等に伴う12遺跡の発掘調査と、20遺跡の発掘調査の成果をまとめた13冊の報告書作成が行われました。今回、そのうち主な20遺跡の成果を紹介します。

## とら い じょう あと 虎居城跡(薩摩郡さつま町)

虎居城は、平安時代末期（約800年前）  
におくまし ちくじょう  
に大前氏によって築城され、江戸時代（1615年）の一国一城令により城としての機能が失われ廃城になったと考えられています。

城には、くるわ  
曲輪と呼ぶ台地とそれらを取り巻く堀があります。

曲輪からは、はしらあな  
建物の柱穴が2000個近く発見され、長い年月の間に何回も建物を建て替えていたことがわかりました。また、ぼうぎょ  
防御施設として、深さ1～2  
からぼり どのい こぐち  
mの空堀や土を盛った土塁、曲輪入り口の虎口等が明らかになりました。

さらに中国から輸入したはくじ せいじ せい か  
白磁・青磁・青花や、中国南部から東南アジア産のりよくゆう  
緑釉陶器、建物の柱材などの木製品や県内では珍しいしつき  
漆器などが見つかっています。



遺跡遠景写真

三方を川内川が取り巻き、川が堀の役割を果たすいわば天然の要塞?! 今回の調査では、「塩の城」「中の城」「近藤屋敷」「おきたの城」の曲輪を調査しました。



虎居城模型



柱穴と柱材

調査から見てきた当時の様子を模型で復元しました。

今回の展示データ

遺跡数	展示資料数	展示パネル数
20	378 (一括展示含む)	130

# 大津保畑遺跡(熊毛郡中種子町)

大津保畑遺跡では、旧石器時代の落とし穴が12基見つかりました。約3万年前の火山灰層(種IV火山灰)の下から発見されたことから、日本最古級の落とし穴として注目されています。

この遺跡で見つかったフラスコ形のものは旧石器時代では初めての貴重な発見です。



3万年前の日本最古級の落とし穴

## 装飾品・装身具

なきの はら

### 鳴野原遺跡A地点(南九州市川辺町)

しもの はら

### 下ノ原B遺跡(伊佐市大口下殿)



鳴野原遺跡 (石製垂飾品)

これらの遺跡では、古墳時代のたてあな 竪穴住居跡のほか、そうしよくひん 装飾品としてせきせいすいしよくひん ガラス製小玉や石製垂飾品が見つかっています。ガラス製小玉は県内では出土例が少なく、当時のガラス製品として貴重な発見で注目されています。



下ノ原B遺跡 (ガラスの小玉)

\*カリガラスとは?!  
カリウムを多く含有するガラスです。

や どん

### 屋鈍遺跡(大島郡宇検村)



貝符

かいふ 貝符はイモ貝製で四角形に加工し、表の上面には2個の穴を開け、直線きかかくもんほ 幾何学文を彫った、ネックレスと思われれます。

このような貝符は南種子町のひろた 広田遺跡でも発見されています。

#### 貝製品

貝殻に加工を施したもの。  
貝玉・貝斧・有孔貝製品など。



貝符出土状況

